

移動レジーム研究会のねらい

本研究会の目的は、移動レジームの動態という視点から現代日本における社会階層と雇用・生活リスク分布の変動を厳密に解明することです。現代日本の階層構造は非正規雇用の増大など周辺部分で流動性を高めている一方、中核部分では安定性を維持しています。このことはグローバル化のようなグローバルな変動が階層構造に均質的に影響を及ぼしているわけではないことを示唆しています。そこで、本研究会では、移動レジーム—社会移動イベントを組織化する制度的配置—に焦点を当て、「グローバルな変動→移動レジームの変容→社会階層と雇用・生活リスク分布の変動」という一連のメカニズムを解明します。このために、一方でバブル経済崩壊後から現在までの計量歴史社会学的分析、他方で東アジア社会比較分析という融合的研究を推進しています。

最 終 更 新 時 間： 2013 年 01 月 21 日 10 時 00 分 01 秒
アクセス数：933